

# えべつ 市議会だより

令和7年2月1日発行

## No.160

発行 江別市議会  
江別市高砂町6番地  
電話(011)381-1051

編集 議会広報広聴委員会

印刷 江別印刷業協同組合



## 第10回 市民と議会の集い開催!!

市民と議会の集いを11月10日(日)に市民会館で開催しました。テーマの「子育て環境について」のほか、市政全般についての意見交換会をワークショップ形式で行い参加者の皆様から多くの御意見を頂きました。報告書は、各公共施設等で配布するほか、市議会ホームページにも掲載いたします。

◇令和6年第4回定例会の概要 P2～3

◇討論を経て認定 令和5年度決算概要 P4～6

◇議会から要請 JR大麻駅跨線人道橋の架け替え工事 P6

◇14人が登壇 一般質問 P7～11

◇活動状況をお知らせ 委員会のページ P12

### 次期定例会の開催予定

- 第1回定例会  
2月20日～3月24日
- 各委員会  
2月21日～2月27日、  
3月7日、10日、11日、  
12日、14日、17日
- 一般質問  
3月3日～5日

※日程は予定です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会ホームページ <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは、議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録(本会議・各委員会)など、議会の情報が御覧になれます。また、江別市議会フェイスブックでも、議会の最新情報を発信しておりますので、こちらもぜひ御覧ください。



江別市議会  
ホームページ

障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。  
また、ホームページに音声データをアップしております。

【詳細】障がい福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

第4回定例会は11月26日から12月12日まで17日間の会期で開かれました。

令和6年  
第4回

# 定例会

- 議案13件(一般会計補正予算や病院事業会計補正予算など)
- 諮問1件
- 意見書案2件
- 報告4件
- 認定8件(各会計の決算)

主な議案の内容についてお知らせします。



## 安心・安全な庁舎にするため江別市議会として国に要望！

※詳細は[意見書]欄

### 条例

◎行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

児童手当法の一部改正により、児童手当の支給要件のうち所得制限が撤廃され、一定所得の者に支給される特例給付が廃止されたことから、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

国または本市以外の地方公共団体の要請等に基づき、災害応急作業のため本市以外の地方公共団体に派遣され、応急作業等の困難な勤務に従事する職員に対して、災害応急作業等手当を支給するため、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

### 一般議案

◎財産の処分(野幌若葉町市有地の売却)

野幌若葉町2番1、3番1及び3番2、合計面積2万7千406・74平方メートルの宅地を開発事業者に3億1千万円で売却するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎契約締結の議決変更(環境クリーンセンター延命化工事請負契約)

資材の価格高騰や労務単価の上昇により、契約金額を4千310万5千700円増額し、34億4千835万9千200円に変更するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

### 人事

◎人権擁護委員候補者の推薦

◇厚海嘉孝氏の推薦を可と答申

◎公平委員会委員の選任

◇鈴木裕治氏の選任に同意

### 予算・決算

◎令和5年度一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・基金本財産基金運用特別会計・水道事業会計・下水道事業会計・病院事業会計の決算認定

一般会計などの各会計決算が認定されました。

審査経過など詳しくは4ページから6ページを御覧ください。

◎一般会計補正予算(第5号)

歳出の決算見込みに伴う措置のほか、緊急を要するものへの措置として、病院事業会計への繰出金や自立支援医療給付費の追加などにより、1億6千129万1千円を増額し、予算総額は、541億4千88万9千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎緊急防災・減災事業債の期間延長及び一層の充実を求める意見書

地方自治体の庁舎は、平常時は住民の日常生活に密接に係る行政機能の場ではありますが、発災時には、多くの部分が災害対応拠点として使用されることになります。

市では、昭和41年に建設した本庁舎の老朽化が進んでいるため、令和8年度から新庁舎の建て替え工事を予定しており、緊急防災・減災事業債を財源として活用すること

PICKUP

意見書

◎病院事業会計補正予算(第2号)

診療収益等の収入及び支出に係る決算見込みによる増減調整のため、収益的収入及び支出のうち、病院事業収益について5億51万8千円を減額し、予算総額は67億5千906万9千円に、病院事業費用について5千775万1千円を減額し、予算総額は、75億484万2千円になるもので、本議案は、多数により原案のとおり可決されました。

緊急防災・減災事業債とは…

防災等のため緊急に実施する必要性が高く、即効性のある地方単独事業(地方自治体が国の補助金を受けずに行う事業)を対象とする地方債(借金)です。

東日本大震災を教訓として創設され、期間が令和7年度までとなっています。

■返済時の負担

国の負担 70%

市町村の負担 30%

を念頭に置いています。

しかしながら、緊急防災・減災事業債は、令和7年度までの時限措置とされているほか、令和2年度まで活用可能であった他の事業債と比較しても、活用可能な対象が限られています。

そのため、緊急防災・減災事業債を令和8年度以降も継続することのほか、起債対象事業の拡大や要件緩和、財源措置の強化など、一層の制度拡充を図るよう国に要望しました。



議決結果・賛否の状況については、江別市議会ホームページで公開しております。

そのほか本定例会に提出された議案

| 件 名                                       | 議決結果       |
|-------------------------------------------|------------|
| 財産の処分(野幌団地跡地の売却)                          | 原案可決(全員一致) |
| 契約締結の議決変更(江別太南大通り整備工事請負契約)                | 原案可決(全員一致) |
| 指定管理者の指定(区画整理記念会館)                        | 原案可決(全員一致) |
| 指定管理者の指定(文京台地区センター)                       | 原案可決(全員一致) |
| 指定管理者の指定(都市と農村の交流センター)                    | 原案可決(全員一致) |
| 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正        | 原案可決(全員一致) |
| ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書 | 原案可決(全員一致) |
| 専決処分につき承認を求めること(一般会計補正予算(第4号))            | 承認         |

令和5年度の一般会計ほか各特別会計などの決算は、第3回定例会の最終日に予算決算常任委員会に付託され、令和6年10月18日から7日間にわたって審査が行われました。

予算決算常任委員会で行われた審査概要についてお知らせします。

# 令和5年度 決算審査 の概要

## 主な質疑

一般会計等決算の審査で、各委員が市に対して行った質疑の内容を抜粋してお知らせします。

### JR大麻駅跨線人道橋の架け替えの現状は？

答：当初の計画では令和7年度に事業完了を予定していたが、北海道新幹線の札幌延伸に向けた工事等による人手不足の影響を受け、工事着手に至っていない状況にある。

令和5年度は、JR北海道と設計内容に係る協議や関係機関が参集した現地立会いを計7回実施した。現在の跨線人道橋が老朽化している状況を踏まえ、事業の早期着手に向けて引き続き協議していきたい。



### ファミリーサポート事業の提供会員の確保は？

答：提供会員の確保は、全国的に共通した課題であり、市では、依頼会員の方の子育てが終わったタイミングを見計らって、提供会員として登録していただけないか依頼しているほか、自治会回覧で提供会員の募集を行っている。

ここ数年は、送迎のみの短時間利用が多くなっていることから、提供会員の確保にあたっては、短時間でも提供会員になれることを周知するなど、募集方法を工夫することで利用希望者が利用できないことがないように取り組みたい。



### 就学援助制度の周知方法は？

答：市のホームページや広報えべつに就学援助に関する記事を掲載しているだけでなく、小学校に翌年度入学する子どもがいる世帯に対して、毎年9月頃に案内文書を送付しているほか、小・中学校に通学している児童生徒の保護者に対しては、毎年1月頃に学校を通じて全世帯に案内文書を配付している。

令和5年度の申請からは、市の公式LINEのプッシュ通知を活用して情報発信を行うなど、就学援助制度を知らなかった世帯がないよう努めている。



その他の質疑…都市と農村の交流センター（えみくる）に設置した大型木製遊具の利用状況、ロードヒーティングの管理、除排雪、新規就農者の相談状況、えべつやきもの市の現状、特定健診受診促進に向けた取組、救急車の運用状況、家庭系廃棄ごみ排出量、福祉除雪サービス、病院事業会計繰出金の基準外繰出金の拡大、外国人の小・中学校での日本語サポート、本庁舎建設基本計画など

## 討論概要

予算決算常任委員会において、各会計決算に対して、認定する立場からと不認定とする立場から討論が行われましたので、概要をお知らせします。なお、基本財産基金運用特別会計及び下水道事業会計については、討論がありませんでした。

### 一般会計

#### 認定

- ・ごみ処理手数料等管理経費における指定ごみ袋の製作については、主に海外で作られているが、円安や危機管理の観点から一部道内の社会福祉法人で製作しており、今後も様々な状況を考慮し、継続して取り組むことを期待する。
- ・ふるさと納税普及促進事業は、手法や返礼品の工夫によって、財源として比較的確保しやすい事業である。新庁舎建設に財源確保が重要であり、さらに強化・拡大していくための検討を求める。
- ・成人検診推進事業では、コロナ禍以降、がん検診の受診状況は回復しつつあるが、令和5年度については、前年度とほぼ横ばいであった。これまでも、受診勧奨の内容充実や集団検診枠の確保という地道な努力が続いているところであり、こうした取組の継続と各種啓発の充実を望む。
- ・除排雪事業では、近年は稼働時間内での除雪ができています。緊急な除雪が必要な場合に備え、江別環境整備事業協同組合内に直営部隊の配置を求めるとともに、子どもたちの通学時の安全対策を第一に作業するよう期待する。

#### 不認定

- ・ごみの排出量に応じて手数料を負担する方法は、所得の多寡にかかわらず負担が生じることになるため、低所得世帯にとっては、切実な問題であり、生活に困窮している世帯への対策が不十分である。
- ・就学援助制度の認定率が低下してきているが、共働き世帯の増加による収入増などが影響している一方、家計の維持のために働かざるを得なくなっている状況があるため、実質賃金が上昇しない中で、さらなる検討を求める。
- ・JR大麻駅跨線人道橋の架け替えは、既に工事が開始されている計画だったが、JR北海道から新幹線事業による工事着手の遅れが伝えられ、着手の見込みも立っていない。人道橋の老朽化が懸念され、地域住民の高齢化や買物の困難な状況を踏まえ、早急に対応するよう努力を求める。
- ・職員数の状況は、市の業務において会計年度任用職員が重要な役割を担っているが雇用の安定化の面で問題がある。雇用の安定化を図る取り組みを行っている他の自治体を参考に検討するべきである。

### 国民健康保険特別会計

#### 認定

- ・誰もが安心して医療を受けられる医療保険制度の維持のため、予防・健康づくりを重視した効果的な取組がますます重要となる。今後も、本制度の安定した継続と事業内容の充実を期待する。

#### 不認定

- ・滞納者との納付相談の機会のため、資格証明書を交付している現状は、受診抑制につながりかねず、問題である。低所得世帯では、一度納付が滞ると、納付困難になっていくことは明らかであり、担税能力に応じた保険税にする必要がある。

### 後期高齢者医療特別会計

#### 認定

- ・後期高齢者医療制度は、国民皆保険制度の維持と世代間の負担の調整を図る制度であり、市の役割は、保険料の徴収や申請・届出の受付などの窓口業務である。今後はさらに高齢化が進み、医療給付が増大する見込みであることから、世代間、地域間の医療費格差解消を図るため、国に対しさらなる法整備を求めるべきである。

#### 不認定

- ・短期証の交付をしないことにより、これまでの状況から一定の改善が図られたが、一部の方々に負担割合は増加した。後期高齢者医療制度が高齢者の生活そのものに不安を与えている状況から、安心して暮らせる生活を保障するための施策が不十分である。



## 討論概要



### 介護保険特別会計

#### 認定

・介護保険給付費準備基金の積立額が増えており、この基金を活用して保険料は抑制されている。団塊ジュニア世代が65歳以上を迎えることで、高齢化がさらに進み、給付費が増加していくことが予想されるため、健全な介護保険の運営に努め、多世代の地域住民が支え合える仕組みづくりを進めていくことを期待する。

#### 不認定

・基金を活用し、保険料が引き下げられたことは評価するが、介護保険制度開始時と比較すると、大きな負担増となっている。必要な介護サービスが受けられ、安心して高齢期を過ごせるよう、市には保険者としてさらなる努力が求められるほか、国に対して制度の改善を強く求めるべきである。

### 水道事業会計

#### 認定

・各種経費の節減に努め、収益的収支で純利益を計上できたことは、昨今の物価高騰などの影響があった中で、水道料金の未納対策等に丁寧に向き合い、収益確保に積極的に取り組んだ表れといえる。

これからも安全・安心な水道水を安定的に供給するため、より一層の市民サービスの向上に努め、市民のライフラインを預かる責任を果たすことを願う。

#### 不認定

・水道事業収益が予算額に届かなかったが、収益的収支で純利益が計上されており、健全経営の努力は評価する。しかし、水道料金を滞納した世帯に接触する機会を得るため、給水停止措置が取られていることは問題である。基本的に水道事業は、市民に安全で衛生的な生活を保障することが目的であり、ライフラインである水道の給水停止は、滞納者への対応として取るべきではないことを指摘する。

### 病院事業会計

#### 認定

・令和5年度は赤字決算となり、集中改革期間で目指した収支均衡は達成されなかったが、結果だけではなく、そのプロセスも重要であり、一つ一つの取組やプロセスは評価している。

これからは、地域連携が最も重要であり、市全体での医療体制の充実を考える必要があり、市民の命と暮らしを守れるように、さらなる地域医療の連携強化と課題解決に向けて職員が一丸となって取り組むことを求める。

#### 不認定

・令和5年度は赤字決算となり、この1年間でのDPC係数改善のための対応が不十分と指摘せざるを得ない。現在の診療報酬制度がDPC機能評価係数Ⅱを中心に算定されていることから、係数を上げるための分析、対策が不可欠であり、より専門的な職員の配置を要望する。また、入院患者数の現状に見合った職員配置で、経営改善を図るなど、従来の考え方を見直すことも重要な課題であることを指摘する。



要請書を提出する島田議長(右)

決算審査の中で、令和4年度に着工を予定していたJR大麻駅跨線人道橋の架け替え工事について、質疑が交わされました。

北海道旅客鉄道株式会社(JR北海道)では、新幹線建設事業に伴う工事発注部署の人材不足から対応が遅れ、着工時期が未定となっています。地域住民の生活に直結する切実な問題であることから、江別市議会としてもJR北海道に対し、早期着工を求める必要があるとの判断に至り、令和6年12月16日にJR北海道本社を訪問し、要請書を提出しました。

JR大麻駅跨線人道橋の  
架け替え工事  
早期着工を求める要請書を提出

議員が市政をたず

## 一般質問

今定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。  
誌面の都合上、各議員が行った質問の中から、1人2項目を要約してお伝えいたします。

※二次元コードを読み取ると、一般質問の動画を御覧いただけます。

## 質問席

泊発電所での万が一の事故に備え、できる限りの備蓄を

## 質問

風向きによっては放射性物質の飛来も警戒すべき。放射線量の計測とマスクや防護服の備蓄が必要なのは。

## 答弁

泊発電所から約80キロメートル離れている本市は、原子力防災に関する計画を策定すべき市町村ではないため、通常の災害対応としての備蓄を進めている。放射線量については、道が、札幌市や岩見沢市などに観測局を設け、リアルタイムでデータを公開している。市では、引き続き、道主催の訓練や会議に参加し、関係機関等と連携しながら対応していきたい。

生活道路の側溝は足をとられる心配が早期に整備を

## 質問

市内全体でU字側溝はどのくらい残されているのか。整備状況は。

## 答弁

これまで、総延長約95キロメートルを整備し、過去10年間では、約20キロメートルのU字側溝路線を改修した。

現在、U字側溝がある道路は、約50キロメートル残っているが、引き続き、計画的な改修工事に合わせてU字側溝の暗渠化を進め、安全で快適な道路環境の確保に努めていきたい。

このほか、市長の政治姿勢について質問がありました。



日本共産党議員団  
たかはしのりこ  
高橋 典子 議員



労働力の確保が課題  
市の現状は

## 質問

高齢者と女性の労働力率がともに全国平均を下回っているが、労働力人口の特徴をどう考えているか。

## 答弁

令和2年国勢調査結果のうち、年齢5歳階級別の男女別労働力率では、男性の65歳以上で全国平均に比べ、5ポイントほど下回っている。

女性では30歳から34歳で5ポイントほど全国平均を下回り、年代が上がると差は縮小するが50歳以上で差が広がっていく傾向にある。これは、道平均と同様で、男性高齢者や女性の労働力率が相対的に低いことは、当市における労働力人口の特徴の一つである。

女性の労働力率改善のため、保育園の整備を

## 質問

さらなる保育園の整備に向けて検討が必要なのではないか。

## 答弁

現在策定中の計画では、今後も教育・保育施設の利用量が増加するものと推計している。

その結果、現時点では、令和7年度からの5年間で230人の定員増を計画し、特に1歳は54人、2歳は46人、3歳は30人の定員増を見込んでいます。今後、過剰な施設整備とまらないよう既存の施設や人的資源を積極的に活用し、保育定員の確保に努めたい。



えべつ地域創生の会  
おかひでひこ  
岡 英彦 議員





民主・市民の会  
いなもり こうじ  
稲守 耕司 議員



## 市のカスタマーハラスメント対策は急務 民間企業の対策を参考にししては

**質問** カスタマーハラスメントについて、どのように考えているか。

**答弁** 国のマニュアルによると、カスタマーハラスメントとは、顧客等からのクレーム・言動のうち、手段・態様が社会通念上不相当であることにより、労働者の就業環境が害されるものと定義されている。

市では、カスタマーハラスメントは、職員の仕事に対するモチベーションや業務能率を低下させ、ストレスによる深刻な健康障害を引き起こしかねないものと認識している。

## カスタマーハラスメント対策を統一し、 市民サービスの向上へ

**質問** カスタマーハラスメント対策を統一する必要があると考えるが、今後の取組は。

**答弁** 今年度、管理職員等の研修に、カスタマーハラスメントのカリキュラムを含めるほか、プライバシーを保護するため、職員のネームプレートの表記を、フルネームから名字のみへと変更予定である。

対策を統一化することは、心理的

安全性を高め、働きやすい職場環境  
につながることから、先進自治体の取  
組を情報収集しながら、検討を進め  
たい。



政和会  
はが まさみ  
芳賀 理己 議員



## 江別に息づく貴重な縄文文化で観光振興

**質問** 縄文文化に興味のある方に貴重な観光資源を知ってもらおう観光誘客方法について、どう考えているか。

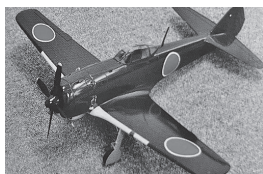
**答弁** 市では、これまでもパンフレット、ガイドマップ、ホームページ等において、市に所在する縄文時代の歴史を伝える資料を掲載しているほか、江別の歴史を知るモデルコースを紹介するなど、様々な方法で周知に努めている。江別市観光振興計画では、歴史的コンテンツのPRと活用を図っていくことから、効果的な周知の方法について、関係機関と連携しながら検討していきたい。

## 江別の歴史を学ぶことで、子どもたちに 自己肯定感を

**質問** 子どもたちが江別の歴史を学ぶことについて、ふるさと愛の醸成以外の狙いや目的は設定しているか。

**答弁** 市教委では、江別の歴史を学ぶことは、地域の特色や産業を知ることによる、ふるさと愛の醸成に加え、子どもたちが好奇心や探求心を持ち、自ら調べる力や、それを整理し、まとめる力を育むことにもつながるものと考えている。

引き続き、関係機関や団体と協力しながら、子どもたちが江別の歴史を分かりやすく学べる機会の提供に努めていきたい。



公明党  
とくだ さとし  
徳田 哲 議員



## より災害に強い上下水道を目指す 上下水道耐震化計画の策定

**質問** 緊急点検の結果を踏まえた、耐震化の優先順位の再検討や計画策定などの予定は。

**答弁** 上下水道施設の耐震化を計画的に進めており、上水道では、優先度の高い主要な導水管等の耐震化を完了し、下水道では、耐震診断を行い、地震が発生しても、下水を流す機能が維持できることを確認している。

こうした取組から現時点で、上下水道ともに、一定の耐震性能が確保できているが、国から上下水道耐震化計画の策定を求められていることから、早急に策定し、適切に耐震化を進めたい。

## あけぼの地域の特色を生かした団地へ

**質問** あけぼの団地の建て替えの方向性として、地域の再生・活性化まで考え方を広げては。

**答弁** あけぼの団地の建て替えコンセプトとしては、地域の特色を生かしながら、高齢者が安心し、子育て世帯に便利で、多様な世代のコミュニティが生まれる団地を造ることとしている。

今後は、現在実施しているアンケート調査や外部委員で構成する検討委員会との議論等も踏まえ、再整備計画に盛り込んでいきたい。



公明党  
おさだ 長田 旭輝 議員

## 利便性向上のため、民間施設に期日前投票所を

**質問** ショッピングセンターなどでの期日前投票所の増設を検討すべきと考えるが、想定される課題は。

**答弁** 市民会館は、市の中心部に位置し、アクセスが良く駐車場が広いなど市民が利用しやすい環境が整っているほか、選挙時には条例に基づき、最優先で必要な期間、投票所として利用できるため、常設の期日前投票所を設置している。

ショッピングセンター等に投票所を増設することは、急な選挙時に、民間施設を最優先で必要な期間使用しなければならぬため、現時点では難しい。

## 支援が必要な方に、投票しやすい環境を

**質問** 投票支援カードや投票用紙記入補助具の導入は、投票しやすい環境づくりにつながるのでは。

**答弁** 投票支援カードは、支援の必要な方が、投票従事者に口頭で意思を伝えることが難しい場合に、事前に記入したものを提示することでサポートを受けるところができることから、導入する自治体が増えていると承知している。

また、投票用紙記入補助具は、各投票所に老眼鏡や点字器を配置しており、引き続き、他市の状況を参考にし、投票しやすい環境づくりに努めたい。

無所属  
いわた 岩田 優太 議員

## 行政のDX化で市職員の業務を効率化

**質問** DXに係るこれまでの取組と、今後、新庁舎建て替えに当たってDXを推進していく上での考えは。

**答弁** 庁内では、江別市DX推進方針等に基づき、令和4年度に会議録作成支援システムを導入し、業務の効率化を図ったほか、令和5年度からは職場内研修などを行い、DXの推進や職員の業務の効率化に係る意識の醸成に努めている。

新庁舎の建て替えは、DX化により、業務の効率化や市民サービスの向上を進める上で大きなチャンスと捉えており、関係部局の連携の下、検討していきたい。

## 市の窓口でデジタル機器の案内表示や、キャッシュレス決済を

**質問** 窓口での業務の簡略化のため、デジタル機器の設置等についての考えは。

**答弁** デジタルサイネージなどの設置やキャッシュレス決済の導入により、市民サービスの向上と業務効率化が図られるものと考えている。一方で、この取組を推進するに当たっては、窓口レイアウトや導入経費が課題となるため、タッチ式のデジタルサイネージなどの設置は、新庁舎建設に向けて、また、キャッシュレス決済の導入は、費用対効果を考慮しながら、現在、検討を進めている。

公明党  
いしかわ 石川 麻美 議員

## 女性や乳幼児・高齢者に配慮した備蓄品の充実を

**質問** 早期に必要な物資は、計画的に備蓄しているとのことだが、今後の計画は。

**答弁** 市では、令和10年度までの10か年計画を定め、内容を見直しつつ、災害用備蓄品の整備をしている。

女性や乳幼児・高齢者に配慮した備蓄品として、生活用品、液体ミルク、紙おむつを計画数どおり備蓄し、間仕切りを計画数2千500区画に対し2千300区画、使い切り哺乳ボトルを計画数288個に対し144個を備蓄している。

今後も計画に基づき、適切に対応していきたい。

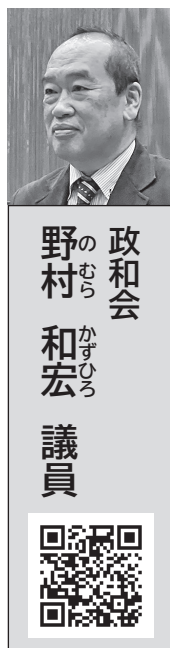
## 緊急連絡先や終活情報を登録救急袋で効果的な運用を

**質問** 現在配布している救急袋に、他市で導入例のある終活情報登録事業と同じ役割を持たせるには、使い方の周知や情報の伝達方法に工夫が必要では。

**答弁** 駆付けした救急隊員が救急袋を見つけた際は、それを搬送先に持っていく、病院へ引き継ぐ運用となっている。

救急袋には、封筒の中に伝えたいことを入れておくように記載していることから、現在の運用で終活情報登録事業と同じ役割を果たせると考えている。





政和会  
のむら かつひろ  
野村 和宏 議員



## ふるさと納税 返礼品メニューの充実を

**質問** 今後は、生活関連のサービスや高齢者を支援する制度なども取り入れてはどうか。

**答弁** 市では、これまでも、通常の返礼品のほかに、家族への恩返しを目的とした住宅のリフォームや、お墓の清掃などのサービス型の返礼品、陶芸体験などの体験型の返礼品をメニューに加えてきたが、今のところ、ニーズは少ない。

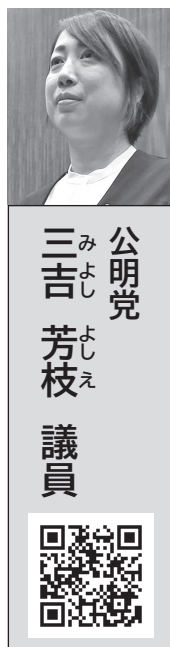
今後も、幅広い分野において、魅力ある返礼品となるよう、サービス型や体験型の返礼品の充実に向けて、様々な可能性を検討していきたい。

## 自衛官募集 対象者の個人情報名簿の提供を

**質問** 法改正や国の見解に基づき、住民基本台帳の閲覧ではなく、名簿を提供する自治体が増えている。提供方法を変更しては。

**答弁** 自衛官等の募集に関する情報提供は、対象者の氏名、生年月日、住所など住民基本台帳の記載事項であることから、個人情報保護に関する法律等を参照するとともに、国通知や見解を踏まえ、住民基本台帳法に定められた閲覧方式により対応している。

今後も、関係法令を参照し、法律の規定等に基づいて、対応したい。



公明党  
みよし よしえ  
三吉 芳枝 議員



## 自分らしい暮らしの継続サポート

**質問** 高齢者や介護者の生活の質を向上させる介護保険外サービスを広く周知することが必要では。

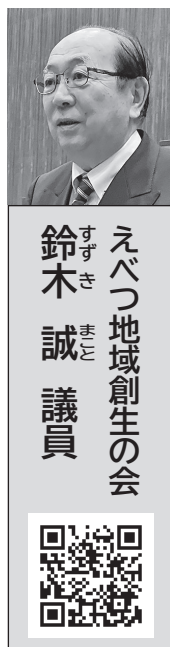
**答弁** 市が関与する介護保険外の高齢者福祉サービスは、広報えべつなどで周知しており、民間のサービスについては、個人と民間事業者の私人契約のため、特定の事業者を紹介することは避けるべきと判断している。市では、民間の介護保険外サービスの問合せがあった場合には、どのような業態の事業者がサービスを実施しているかを紹介するなど、高齢者や介護者の生活の質の向上を支援していきたい。

## 身だしなみを整え、社会性を保つ 訪問理容や美容サービスの充実

**質問** 在宅高齢者等の生活の質の維持・向上につながる助成への見解は。

**答弁** 外出が困難な高齢者が身だしなみを整えることは、心地よい生活を送るための一つの要素だと認識している。訪問理容や美容サービスの利用助成など、生活支援に対するニーズは多様であるが、市では、在宅の高齢者が安心して地域で暮らし続けるために必要不可欠な緊急通報サービスや福祉除雪サービスなどを優先したい。

このほか、がん対策について質問がありました。



えべつ地域創生の会  
すずき まこと  
鈴木 誠 議員



## 市立病院の経営強化プランは早期に見直すべき

**質問** 今年度末の赤字決算が見込まれ、プランの実現性には疑義がある。市政全体に影響することから、今年度中にプランを見直すべきと考えるが、認識は。

**答弁** 経営強化プランについては、令和8年度に中間見直しを実施するほか、市立病院を取り巻く環境の変動等が生じた場合には、必要に応じて計画内容を見直すこととしている。経営評価委員会からも、見直しの時期、内容などについて、様々な意見を頂いていることから、このまま放置できないと考えており、見直し時期の前倒しに向けた検討にできるだけ早く着手したい。

## 市立病院の診療科目や病床数は見直しを

**質問** 市内民間病院の建て替えも見据え、市内各病院の機能・役割に関して、江別医師会等と協議しては。

**答弁** 将来に向けて、地域医療を確保していくためには、市内の各医療機関が果たしている機能・役割を踏まえつつ、市立病院が、これまで以上に、各医療機関との連携を深めていくことが重要である。地域医療の確保は、市全体に関わる重要な課題であることから、関係機関の意見を伺いながら、慎重に検討したい。

このほか、JR江別駅周辺地域の再開発について質問がありました。





民主・市民の会  
よしだ  
吉田 美幸 議員



## 学校給食の民間委託には課題 調理委託の様々な手法について検討を

**質問** 江別市学校給食の在り方検討委員会での協議の経過は。

**答弁** 市教委では、給食施設の老朽化と調理員不足という状況の中、安全で安心な給食を安定的に提供する体制を検討するため、江別市学校給食の在り方検討委員会を設置した。サウンディング型市場調査の結果や、児童生徒、保護者及び教職員を対象としたアンケート結果も踏まえ、検討した5案から、統合センター新築、対雁調理場新築、中学校への民間事業者デリバリー方式導入の3案に絞り、協議を継続している。

## 学校給食は教育活動の一環 市が責任を持って提供を

**質問** 仮に施設を建て替えるとしても、それに合わせて調理方式を民間委託にするなど混同すべきではない。施設の老朽化と調理員不足はそれぞれ別問題では。

**答弁** 施設の更新と調理方式などの運営体制の検討には、それぞれ異なる課題があると認識している。

しかしながら、施設の数が調理員などの人員体制に影響するなど、施設の更新と運営体制には、関連性があることから、並行して検討する必要がある。

今後の検討委において、これらの課題について、幅広く議論いただきたい。



えべつ地域創生の会  
たかやき  
高柳 理紗 議員



## 白線が消えかけた横断歩道 通学路から優先的な修繕を

**質問** より安全な通学環境を確保するため、地元警察署に優先箇所を示すなど、連携して実施しては。

**答弁** 横断歩道などの道路標示の維持管理は公安委員会が所管し、毎年、一定数の横断歩道を点検し、摩耗率の高い箇所から優先的に更新されている。

一方、市教委では、江別警察署のほか、道路管理を行う国や道、市の関係部局による江別市通学路安全推進連絡会議を開催しており、今後も、合同点検で視認性が低い横断歩道を確認した際には、江別署に更新を要請するなど、通学路の安全対策に努めていきたい。

## 休校時の放課後児童クラブの緊急開設 事業者により独自の補助を

**質問** 緊急開設は事業者には大きな負担となるため、市が独自に補助してはどうか。

**答弁** 小学校を臨時休校する際には、速やかに放課後児童クラブへ連絡しており、臨時開設をしていただいている。その場合、運営事業者側としては緊急的な対応となり、予定外の人件費や光熱水費等の負担が生じるが、現時点では臨時休校に対する国の補助等の仕組みがないことから、まずは、他市の対応状況等も調査しながら、事業者の意見をお聴きしていきたい。



民主・市民の会  
ほしほ  
干場 芳子 議員



## 子どもの居場所づくりは待ったなし 効果的で実践的な取組を

**質問** 限られた財源の中で、今後どのようなイメージを持って子どもの居場所づくりを進めていくのか。

**答弁** 現在策定中の子ども・子育て支援事業計画においては、子どもの居場所として、これまでの児童センターなどに加え、地域の子どもの食堂などの活動がさらに広がるよう、支援の在り方を検討していく。

また、中高生の意見を聴きながら、気軽に過ごしたり、勉強することができる居場所のニーズにも対応することができるよう、世代に応じた多様な居場所づくりに向けて、引き続き検討していきたい。

## 半導体工場からの排水が千歳川に 水道水は安全か

**質問** PFASが検出された安平川を水源とする工業用水を、千歳川に排出することについて、どのように受け止めているか。

**答弁** 市では、安全安心な水道水を安定供給していくことが重要と考えており、市民の関心も高いと認識している。安平川で検出されたPFASについては、発生源の特定と除去を確実に行うよう、千歳川水系水質保全連絡会議を通じて、道へ要請している。

このほか、江別市自治基本条例について質問がありました。



活動状況をお知らせします

## 委員会のページ

議会運営委員会・議会改革検討小委員会  
議会から政策提案を！

議案及び委員会資料の公開を充実させていくことについて、議会基本条例に掲げる議会広報広聴の充実として、議会ホームページでの公開や委員会資料を分かりやすくするための議論が行われました。

また、タブレット端末の運用について、現状での問題点等について報告され、今後の対応について協議を進めることとしました。

議会改革検討小委員会では、一般質問を議会からの政策提案につなげる手法など、議会運営に関する検討課題について引き続き協議しました。

総務文教常任委員会  
本庁舎建設基本設計 契約

本庁舎建設基本設計業務の委託契約締結について、契約内容や令和7年6月末までに基本設計業務を完了させるとの報告を受けました。

また、江別市学校給食の在り方検討委員会における今後の安全で安心な給食の提供体制に係る協議について中間報告を受け、質疑を行いました。

このほか、生涯健康プラットフォーム推進事業の進捗状況、道立高等養護学校の誘致活動の状況、日本ホッケー協会公式ホッケータウンの認定を受けたことについて報告を受け、質疑を行いました。

生活福祉常任委員会  
市民意見の調査・検討を！

付託された文京台地区センターの指定管理

者の指定について外3件の審査を行い、全て全員一致で可決すべきものと決しました。

また、市立病院から、認知症医療の充実に向けた包括連携協定の締結、生活環境部から、旧指定ごみ袋の在庫状況と対応について報告を受け、質疑を行いました。

このほか、市民と議会の集いで出された市民意見の協議については、子どもの居場所づくり、放課後児童クラブの利用料における公民格差、紙おむつ等の収集方法について、後日担当課に報告を求めることが確認されました。

経済建設常任委員会  
えべつみらいビルの今後は

付託された江別市都市と農村の交流センターの指定管理者の指定について審査を行い、全員一致で可決すべきものと決しました。

また、えべつみらいビルの事業期間終了後の運営に関し、事業期間を令和19年11月まで10年間延長することも含めた検討状況や、市営住宅の入居における連帯保証人の廃止、令和6年度除排雪事業計画、令和6年度工事契約状況について報告を受け、質疑を行いました。

このほか、市民と議会の集いで出された除雪に関する市民意見の協議について、担当課に確認を行いました。

議会広報広聴委員会  
市民と議会の集い 開催！

テーマを「子育て環境について」とし、子育て中の方をはじめ、幅広い世代の皆さんに参加していただきました。

自由な意見交換でも、除雪や防災、江別の良いところをもっとPRしたほうがよいなど、皆さん真剣に江別市のことを考えてくれました。頂いた御意見は所管する委員会で協議し、これからのまちづくりに生かしてまいります。

また、今回の市議会だよりから、一般質問の記事に関連する写真やイラストを掲載するリニューアルを行いました。今後も、多くの方に読んでいただけるような広報誌を目指します。